

科目名	総合日本語初中級 I						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面で使われる語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 10	第10課・第11課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	11 ～ 20	第12課・第13課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	21 ～ 30	第14課・第15課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	31 ～ 40	第16課・第17課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 50	第18課・第19課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	51 ～ 60	第20課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が40回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初中級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードのまとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物のを登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう! にほんご中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 4	第21課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	5 ～ 8	第22課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	9 ～ 12	第23課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	13 ～ 16	第24課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	17 ～ 20	第25課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	21 ～ 24	第26課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	25 ～ 28	第27課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	29 ～ 32	第28課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	33 ～ 36	第29課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	37 ～ 40	第30課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 48	第31課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				50%
確認テスト		◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙初中級					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年					
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3~N2程度)のに必要な語彙を学ぶ。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的な話題について書かれた文章を読んだりするのに必要な語彙を使うことができる。					
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』『学ぼう！にほんご中級』 専門教育出版 2018年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第10課・第11課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	2	第12課・第13課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	3	第14課・第15課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	4	第16課・第17課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	5	第18課・第19課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	6	第20課・第21課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	7	第22課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	8	第23課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	第24課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	10	第25課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	第26課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	12	第27課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	13	第28課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	14	第29課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	15	第30課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			50%
	小テスト	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	文法初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	戸部田 紀久子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3程度)のに必要な文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的话题について書かれた文章を読んだりするのに必要な文法を使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』『学ぼう！にほんご中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第10課・第11課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第12課・第13課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第14課・第15課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第16課・第17課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第18課・第19課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第20課・第21課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第22課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第23課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第24課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第25課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第26課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第27課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第28課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第29課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第30課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な話題について書かれた文章を読んで理解することができるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
目標							
					日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで予測することができる。		
					日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章を、言い換え表現が与えられれば、要旨を予測することができる。		
テキスト・教材 参考図書	田代ひとみ他 『新完全マスターN3読解』 スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1部 どんな話かをつかむ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	第1部 「だれが」「何が」を考える			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	第1部 長い文に慣れる			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	第1部 知らない言葉を推測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5	第1部 あとの内容を予測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	第1部 指示語を意識する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7	第1部 文章の構造を理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	第1部 筆者の気持ちを理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9	第2部 メール			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	第2部 手紙			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11	第2部 メモ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	12	第2部 指示文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13	第2部 意見文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	14	第2部 説明文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	15	第2部 エッセイ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業内で小テストを1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で、やや自然に近いスピードの会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ理解できるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題(例:趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がだいたい予測できる。	
	○	○				簡単な指示を聞いて、何をすべきか予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスター-N3聴解』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題紹介			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	「発話表現」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	「発話表現」のスキルを学ぶ 3・4			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	「即時応答」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	「即時応答」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	「即時応答」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	「課題理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	「課題理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	「概要理解」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	「概要理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)授業内で模擬試験を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面の自然に近いスピードの会話に参加できることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標						
	身近で日常的な話題について会話ができる。						
	簡単な質問や説明、連絡などができる。						
前もって準備をしておけば、短いスピーチをすることができる。							
テキスト・教材 参考図書	金田智子他 『楽しく話そう』 凡人社 2004年 沢田幸子他 『おしゃべりのたね』 スリーエーネットワーク 2007年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	楽しく話そう 6 待ち合わせ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	楽しく話そう 7 私は大統領			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	楽しく話そう 10 私はプロ!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	楽しく話そう 11 あの店にしよう!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	楽しく話そう 13 X年後の世の中は?			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	楽しく話そう 14 海を見るなら			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	楽しく話そう 15 仕事は大変!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	楽しく話そう 謝り方			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	おしゃべりのたね 12 仕事、がんばります			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	おしゃべりのたね 13 わたしの町は日本一			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	おしゃべりのたね 15 結婚いろいろ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	おしゃべりのたね 16 大変だったね			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	おしゃべりのたね 18 楽しく日本語			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	おしゃべりのたね 19 女と男-仕事と役割			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	おしゃべりのたね 20 ごみを減らそう			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初中級					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川野 さやか	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年					
授業概要	初級で勉強した言葉や文型を使って自分の表現したいことが書けるようになることを目指します。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				
	○	○				
テキスト・教材 参考図書	門脇薫他『やさしい作文』スリーエーネットワーク 2018年 佐藤政光他『表現テーマ別・にほんご作文の方法』第三書房 2015年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	ごみ:国との比較(1) 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	ごみ:国との比較(1) 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	交通:国との比較(2) 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	交通:国との比較(2) 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	スマートフォン 必要?不必要? 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	スマートフォン 必要?不必要? 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	わたしの周りの最近のニュース 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	わたしの周りの最近のニュース 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	9	わたしの国の有名な人 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	10	わたしの国の有名な人 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	11	にほんご作文の方法 3 物事の仕組み・手順・方法			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	12	にほんご作文の方法 4 物事の因果関係			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	13	にほんご作文の方法 5 行為の理由・目的			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	14	にほんご作文の方法 6 共通点・類似点・相違点			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
15	にほんご作文の方法 8 意見述べ			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
	宿題	○	○		◎	
評価割合						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	総合日本語初中級 I						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面で使われる語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 10	第10課・第11課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	11 ～ 20	第12課・第13課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	21 ～ 30	第14課・第15課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	31 ～ 40	第16課・第17課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 50	第18課・第19課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	51 ～ 60	第20課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が40回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初中級 I						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	檜崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本的な語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ予測できる。	
	○	○				自分の趣味や興味のあることについて説明したり、驚きやうれしさなど自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明したりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 20	第36課～第40課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	21 ～ 40	第41課～第45課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 60	第46課～第50課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)まとめテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめテスト	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が40回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初中級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面で使われる日本語を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、スピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 12	第1課～第5課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	13 ～ 24	第6課～第10課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	25 ～ 36	第11課～第15課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	37 ～ 48	第16課～第20課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3程度)のに必要な語彙を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的话题について書かれた文章を読んだりするのに必要な語彙を使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	学ぼう！にほんご 1課・2課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	2	学ぼう！にほんご 3課・4課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	3	学ぼう！にほんご 5課・6課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	4	学ぼう！にほんご 7課・8課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	5	学ぼう！にほんご 9課・10課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	6	学ぼう！にほんご 11課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	7	学ぼう！にほんご 12課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	8	学ぼう！にほんご 13課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	9	学ぼう！にほんご 14課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	10	学ぼう！にほんご 15課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	11	学ぼう！にほんご 16課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	12	学ぼう！にほんご 17課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	13	学ぼう！にほんご 18課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	14	学ぼう！にほんご 19課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	15	学ぼう！にほんご 20課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文法初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3程度)のに必要な文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的话题について書かれた文章を読んだりするのに必要な文法を使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課・第2課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第3課・第4課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第5課・第6課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第7課・第8課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第9課・第10課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第11課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第12課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第13課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第14課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第15課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第16課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第17課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第18課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第19課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第20課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的话题について書かれた文章を読んで理解できるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
学習目標(到達目標)	日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで必要な情報を得ることができる。 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章を、言い換え表現が与えられれば、要旨を予測することができる。						
テキスト・教材参考図書	田代ひとみ他 『新完全マスターN3読解』 スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1部 どんな話かをつかむ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	第1部 「だれが」「何が」を考える			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	第1部 長い文に慣れる			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	第1部 知らない言葉を推測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5	第1部 あとの内容を予測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	第1部 指示語を意識する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7	第1部 文章の構造を理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	第1部 筆者の気持ちを理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9	第2部 メール			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	第2部 手紙			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11	第2部 メモ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	12	第2部 指示文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13	第2部 意見文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	14	第2部 説明文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
15	第2部 エッセイ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)			
評価方法	(1)授業内で模擬試験を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	模擬試験	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	藤井 百合子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で、やや自然に近いスピードの会話を聞いて話の具体的な内容がほぼ理解できる程度の聴解力をつけることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
	○	○					
	目標						
	周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が予測できる。						
	身近で日常的な話題(例:趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がだいたい予測できる。						
	簡単な指示を聞いて、何をすべきか選択できる。						
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスターN3聴解』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題紹介			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	2	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	3	「発話表現」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	4	「発話表現」のスキルを学ぶ 3・4			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	5	「即時応答」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	6	「即時応答」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	7	「即時応答」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	8	「課題理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	9	「課題理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	10	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	11	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	12	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	13	「概要理解」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
	14	「概要理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと		
15	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を3分以上聞くこと			
評価方法	(1)授業内で模擬試験を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	模擬試験	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	身近で日常的な話題について、初級で学んだ語彙や文法を使って会話ができるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		身の回りの日常的な場面で、誤解をしたり誤解を与えたりすることなく、簡単なやりとりができる。	
	○	○				初級で学んだ語彙や文法を的確に使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I 第2版』 スリーエーネットワーク 2013年 金田智子他 『楽しく話そう』 凡人社 2004年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第36課～第38課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第39課～第41課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第42課～第44課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第45課～第47課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第48課～第50課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	楽しく話そう 6 待ち合わせ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	楽しく話そう 7 私は大統領			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	楽しく話そう 10 私はプロ!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	楽しく話そう 11 あの店にしよう!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	楽しく話そう 13 X年後の世の中は?			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	楽しく話そう 14 海を見るなら			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	楽しく話そう 15 仕事は大変!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	楽しく話そう 謝り方			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	日本語おしゃべりのたね 19 女と男-仕事と役割			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	日本語おしゃべりのたね 20 ごみを減らそう			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	初級で習った言葉や文型を使って、自分の言いたいことを書く練習をする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
		○		○			
学習目標 (到達目標)	目標						
	初級の言葉や文型を正確に使うことができる。						
	文章の構成に注意しながら、自分の表現したいことを書くことができる。						
テキスト・教材 参考図書	門脇薫 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	趣味			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	2	楽しい1日			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	3	日本でびっくりしたこと			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	4	わたしの夢			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	5	隣の人にひとこと			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	6	手紙			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	7	ごみ: 国との比較(1)			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	8	交通: 国との比較(2) 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	9	交通: 国との比較(2) 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	10	スマートフォン 必要? 不必要? 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	11	スマートフォン 必要? 不必要? 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	12	わたしの周りの最近のニュース 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	13	わたしの周りの最近のニュース 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	14	わたしの国の有名な人 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	15	わたしの国の有名な人 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本語試験対策初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平間 正美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解することができ、その結果としてN3に合格することを目指す。文字語彙・文法・読解・聴解を総合的に学ぶとともに、実際の問題に沿ってその解き方も学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○			○		
	○	○			○		
目標							
					○ 日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んでする予測ができる。		
					○ 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。		
テキスト・教材 参考図書	青山豊他 『日本語能力試験N3予想問題集改訂版』 国書刊行会 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1部 漢字読み・表記			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	第1部 文脈規定			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	第1部 言い換え類義			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	第1部 用法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5	第2部 文の文法1			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	第2部 文の文法2			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7	第2部 文章の文法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	第2部 短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9	第2部 中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	第2部 長文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11	第2部 情報検索			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	12	第3部 課題理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13	第3部 ポイント理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	14	第3部 概要理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	15	第3部 発話表現・即時応答			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で模擬試験を1回実施する。(2)日本語能力試験の結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	日本語能力試験	◎	◎				50%
	模擬試験	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初中級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードのまとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物のを登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう! にほんご中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 4	第21課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	5 ～ 8	第22課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	9 ～ 12	第23課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	13 ～ 16	第24課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	17 ～ 20	第25課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	21 ～ 24	第26課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	25 ～ 28	第27課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	29 ～ 32	第28課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	33 ～ 36	第29課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	37 ～ 40	第30課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 48	第31課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				50%
確認テスト		◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3~N2程度)のに必要な語彙を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的な話題について書かれた文章を読んだりするのに必要な語彙を使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』『学ぼう！にほんご中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第10課・第11課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第12課・第13課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第14課・第15課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第16課・第17課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第18課・第19課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第20課・第21課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第22課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第23課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第24課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第25課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第26課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第27課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第28課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第29課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第30課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文法初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	戸部田 紀久子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解する(N3程度)のに必要な文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標 日常的な場面で会話をしたり、日常的话题について書かれた文章を読んだりするのに必要な文法を使うことができる。						
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』『学ぼう！にほんご中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第10課・第11課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第12課・第13課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第14課・第15課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第16課・第17課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第18課・第19課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第20課・第21課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第22課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第23課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第24課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第25課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第26課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第27課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第28課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第29課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第30課			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な話題について書かれた文章を読んで理解することができるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
目標							
					日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで予測することができる。		
					日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章を、言い換え表現が与えられれば、要旨を予測することができる。		
テキスト・教材 参考図書	田代ひとみ他 『新完全マスターN3読解』 スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1部 どんな話かをつかむ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	第1部 「だれが」「何が」を考える			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	第1部 長い文に慣れる			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	第1部 知らない言葉を推測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5	第1部 あとの内容を予測する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	第1部 指示語を意識する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7	第1部 文章の構造を理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	第1部 筆者の気持ちを理解する			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9	第2部 メール			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	第2部 手紙			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11	第2部 メモ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	12	第2部 指示文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13	第2部 意見文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	14	第2部 説明文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	15	第2部 エッセイ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業内で小テストを1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で、やや自然に近いスピードの会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ理解できるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が予測できる。	
	○	○				身近で日常的な話題(例:趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がだいたい予測できる。	
	○	○				簡単な指示を聞いて、何をすべきか予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスター-N3聴解』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題紹介			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	「発話表現」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	「発話表現」のスキルを学ぶ 3・4			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	「即時応答」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	「即時応答」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	「即時応答」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	「課題理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	「課題理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 1			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	「ポイント理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	「概要理解」のスキルを学ぶ 1・2			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	「概要理解」のスキルを学ぶ 3			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)授業内で模擬試験を1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面の自然に近いスピードの会話に参加できることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	○	○					
	○	○					
					目標		
					身近で日常的な話題について会話ができる。		
					簡単な質問や説明、連絡などができる。		
					前もって準備をしておけば、短いスピーチをすることができる。		
テキスト・教材 参考図書	金田智子他 『楽しく話そう』 凡人社 2004年 沢田幸子他 『おしゃべりのたね』 スリーエーネットワーク 2007年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	楽しく話そう 6 待ち合わせ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	楽しく話そう 7 私は大統領			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	楽しく話そう 10 私はプロ!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	楽しく話そう 11 あの店にしよう!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	楽しく話そう 13 X年後の世の中は?			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	楽しく話そう 14 海を見るなら			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	楽しく話そう 15 仕事は大変!			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	楽しく話そう 謝り方			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	おしゃべりのたね 12 仕事、がんばります			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	おしゃべりのたね 13 わたしの町は日本一			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	おしゃべりのたね 15 結婚いろいろ			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	おしゃべりのたね 16 大変だったね			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	おしゃべりのたね 18 楽しく日本語			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	おしゃべりのたね 19 女と男-仕事と役割			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	おしゃべりのたね 20 ごみを減らそう			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初中級					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川野 さやか	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年					
授業概要	初級で勉強した言葉や文型を使って自分の表現したいことが書けるようになることを目指します。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				
	○	○				
テキスト・教材 参考図書	門脇薫他『やさしい作文』スリーエーネットワーク 2018年 佐藤政光他『表現テーマ別・にほんご作文の方法』第三書房 2015年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	ごみ:国との比較(1) 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	ごみ:国との比較(1) 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	交通:国との比較(2) 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	交通:国との比較(2) 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	スマートフォン 必要?不必要? 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	スマートフォン 必要?不必要? 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	わたしの周りの最近のニュース 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	わたしの周りの最近のニュース 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	9	わたしの国の有名な人 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	10	わたしの国の有名な人 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	11	にほんご作文の方法 3 物事の仕組み・手順・方法			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	12	にほんご作文の方法 4 物事の因果関係			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	13	にほんご作文の方法 5 行為の理由・目的			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	14	にほんご作文の方法 6 共通点・類似点・相違点			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
15	にほんご作文の方法 8 意見述べ			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
	宿題	○	○		◎	
評価割合						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	日本語試験対策初中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語を理解することができ、その結果としてN3に合格することを目指す。文字語彙、文法、読解、聴解を総合的に学ぶとともに、実際の問題に沿ってその解き方も学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○					
	目標						
	日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで予測することができる。						
	○	○					
日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ予測できる。							
テキスト・教材 参考図書	青山豊他 『日本語能力試験N3予想問題集(改訂版)』 国書刊行会 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1部 漢字読み・表記			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	第1部 文脈規定			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	第1部 言い換え類義			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	第1部 用法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	5	第2部 文の文法1			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	第2部 文の文法2			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	7	第2部 文章の文法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	第2部 短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	9	第2部 中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	第2部 長文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	11	第2部 情報検索			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	12	第3部 課題理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	13	第3部 ポイント理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	14	第3部 概要理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
15	第3部 発話表現・即時応答			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で模擬テストを1回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	模擬テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						